

第3期中野市保育所整備計画（素案）に係る松川保育園保護者説明会 顛末	
日時	令和7年7月31日（木）午後6時30分～午後7時20分
会場	松川保育園延長保育室
出席者	<p>【保護者】 現地参加：4名／オンライン参加：11名 <計>15名</p> <p>【報道機関等】 北信ローカル社／信濃毎日新聞社 <計>2社</p> <p>【事務局（中野市子ども部）】 子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、 全公立保育所園長（7名）、施設係担当、保育係担当 <計>13名</p>
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

【協議会内容】

1 開 会 （保育課長）	（略）
2 あいさつ （子ども部長）	（略）
3 説明 （保育課長補佐）	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始するこども誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したもの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体でも定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしろ保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な

状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

4 質疑応答

Q1（保護者）

松川保育園廃止後、松川保育園の職員はどうなるのか。

A1（保育課長）

他の公立保育所への異動となる。

Q2（保護者）

他の公立保育所の定員は増えるのか。

A2（保育課長）

現在は、就学前人口の推計値等から5年後の児童数を考えると、定員数について現状のままで足りる想定とはなるが、あくまでも推計値であるため、5年後の状況を見て、必要な場合は定員数の増員についても検討する。

Q 3 (保護者)	施設の定員は基準等に基づくものなのか。
A 3 (保育課長)	面積等の基準を踏まえて決定している。
Q 4 (保護者)	松川保育園を廃止した場合、職員の数は足りるのか。
A 4 (保育課長)	松川保育園の職員が他の公立園へと異動となることから、足りる想定となるが、支援が必要な児童への加配を行っているなど、現状においても基準は満たしているが十分な状況でない。
Q 5 (保護者)	5年後松川保育園が廃止となった際に、転園先は選べるのか。
A 5 (保育課長)	可能な限り希望に沿うように市で調整したいと考えているが、施設の空き状況等により必ずしも希望通りになるとは限らない。
Q 6 (保護者)	今回示された松川保育園の5年後廃止の方針をうけて、下の子の入園に併せて上の子も転園させたい、という保護者も出てくるかと思うが、2人まとめた希望する園への転園は可能か。また、更に児童数の減少が加速すると思うが、今後、廃止時期が早まるといったことはあるのか。
A 6 (保育課長)	同時の入園・転園について、施設の空き状況等により、希望に沿えない場合もある。廃止時期については、現状は児童数が減少した場合であっても、通う児童がいる限り、令和12年度末まで運営する方針としている。
5 その他 (保育課長補佐)	<p>第3期中野市保育所整備計画の策定に向け、市民向けの座談会を次のとおり開催する。</p> <p>タイトル) 安心・安全な保育環境を考える市民座談会 ～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～</p> <p>日時) 令和7年8月23日(土) 午前10時から 会場) 中野市市民会館ソソラホール 小ホール 対象者) 中野市民 その他) 託児所あり</p>
6 閉会 (保育課長) (終了時間)	午後7時20分